

明治篇之一（文明開化）

# 日本化粧品史年表（二）

明治元年（一六六八）より二十三年（一八九〇）まで

編集 岩崎 邦太郎

刊行 東京化粧品工業会

一(慶)  
八(治)元  
六(元)四  
八(年)年

# 文明開化年表

(日本化粧品史年表 その二)

## 明治元年

4月 江戸開城

4月 神田鍛冶町裏通に子兵衛西洋洗濯店を開く

5月 ドクトルゴットフリートワグネル氏渡来(ドイツ人、日本の化学工業指導に功

勞のあつた人)

5月 上野彰義隊の戦

7月 江戸を東京と改称

8月 安房国嶺岡の牛酪製造の再興を許可す

8月 築地ホテル竣工

9月 九月八日 明治と改元

10月 榎本武揚 松平太郎 五稜郭に拠る

10月 会津落城

12月 墮胎、四ツ目屋薬販売禁止

○ 立小便禁止

○ 西洋新式鑿物器械（シウインマシネ）開成所にて伝習。並に仕立物之事（中外新聞第一号）

明治二年

3月 名主 年寄廃止

5月 五稜郭の戦終る

5月 大阪舎密局開講（舎密は化学。オランダ人グラタマ博士が主任教授

として指導）

6月 版籍奉還

6月 横濱の町田房造 氷水店を開く。

8月 横濱姿見町に谷藏なる若洋食店を開く。

○ 横濱小倉虎吉 百四十八番館に散髪店を開く。

○ 丸屋善八開店

○ 銀座四丁目に松村庄大郎散髪店を開く。

○ ラムネ発売

12月 東京―横濱間電信開通

1月 「日の丸」を国旗に制定

2月 芝、西久保にて前田苗吉、搾乳場を設け、一般の需要に応ず

3月 桜組、西村勝三、靴の製造を始める

9月 平民に姓（氏）の呼称を許可

10月 女子の斬髮諸所に行わる

10月 （聞）工部省設置（鉾山、製鉄、灯明台、鉄道、伝信機の事務を管

掌）

12月 産菓取締規則頒布

12月 テレグラフ（伝信機）東京―横浜間開通

12月 横濱瓦斯会社設立許可（高島嘉石工門）

○ 「石鹼、蠟燭等製法」榎本武揚、訳稿

○ トンビ着用

○ 人力車発明（和泉要助）

○ 西洋蠟燭販売（岩崎弥太郎）

○ 野明舎開業（牛込揚場町九、渡辺清）石鹼、洗濯ソーダの製造に着手（明治九年

牛込舎と改稱、廿三年安永舎となる―三九―五―五東京石鹼商報広告、石鹼の

12月 製出は六年かゝ新聞雜誌「七年一月号、第一八九号参照）  
 京都舎密局（河原町二条下ル）開業、リモノデー・ポンス等の飲料を発売（明  
 石博高氏）  
 （旧曆、新曆では明治四年）

明治四年

3月 郵便切手発行、三都間郵便開始

4月 戸籍法布告（華士卒、神官、僧侶、平民）

4月 常盤橋門外に川名浪吉、ペンキ塗リ「西洋散髪司」を開業  
 （同じ頃、日本橋区海運橋際に加藤虎吉、二階床を開く）

4月 東京府令、はだか御法度

5月 一両を一円と改称

5月 開拓使庁を札幌に設置

7月 菟藩置県

8月 工部省設置（工学、勸工、鉦山、鉄道、土木、灯台、造船、電信、  
 製鉄、製作の十寮と測量司）

8月 散髪、制服、略服、脱刀箆目今勝手たるべし

- 9月 官吏の歳祿制を月給制とす
- 10月 東京府下の選卒三〇〇〇人
- 牛肉店繁昌(安愚衆鍋)
- 4月 女子断髮禁止布告(日要新聞 十八号)
- 横浜堤 牛蠟試製(堤文書)

明治五年

- 3月 身体に入墨するを禁止す
- 4月 庄屋 名主 年寄を戸長の名に改む
- 4月 大阪造幣局 硫酸の製造開始
- 5月 京都舎密局 石鹼功能書配布
- 6月 資生堂薬局 三田田町に開業(福原有信)
- 7月 石鹼使用勸奨の京都府令
- 9月 新橋一横浜間鉄道開通
- 9月 桜水(香水)芳町よしや苗右工門新聞広告
- 9月 ガス灯 横浜に呉火す(横浜瓦斯灯会社 高島嘉右工門)
- 10月 娼妓解放令

10月 独逸医方、西洋齒磨、版八、齋藤平兵衛の新開廣告

10月 官立、富岡製糸所操業（蒸気力製糸）

11月 陰曆を廢し太陽曆採用を布告（明治五年十二月三日を六年一月一日とす。）

12月 開化香油「吾輩従来所製の香油は頗る因循に似たり、依て此間仏製に基き一種

の開化香油を造製し海内諸君開化頭の光輝を増し——  
神田あらめ屋（雜誌 明治五、十二月二五号）明治事物起原）

明治五年壬申春

○ 開物叢説、家什類考（石鹼訳説）文部省教授宇都宮義綱編輯上下二冊、開拓使

出版、これは本邦石鹼専門書発刊の始り（上三十三枚、下三十一枚）

○ 国産ビール市場に出まわる。

○ あんパン販売さる。

○ 東京府、ランプ取扱方布告

○ 全国郵便施行

8月 学制領布

1月 一月一日 太陽暦実施

1月 徴兵令発布

2月 仇討禁止

2月 きりしたん祭制の高札撤去 三、四月旧教徒放免

3月

天皇断髪

皇后鉄漿かね、黛まゆみを落さる

3月 外人との結婚許可

3月 横浜堤磯石工門、石礮工場を設ける（七月洗濯石礮を始めて造る）

4月 ラムネの飲用一般化

○ 鉄道技師、平岡燃、米国土産に一本の棍棒と三ヶの硬球を携え来り、

球技を伝う。

5月 浅草公園の写真師北庭ほくまつくば、「暗夜に写すべき器械を取寄せる」

7月 開拓使、主上に「アイスクリーム氷」を奉る

11月 内務省設置

12月 郵便はがき発行

12月 文部省手島精一、米国より幻灯を持ち来る

12月 品川硝子製造所設立

○ 夏、レモン水の飲用始る

10月 埃国博覧会、技術伝習生 井口直樹、小池卯八郎に鉛筆製造法と器械を伝う。

（十年内国勲博に出品 国産成る）



- 「百工応用化学篇」文部省刊 牧山耕平（石鹼製造法）
- 林庄九郎 石鹼工場

明治七年

1月 内務省 勸業寮を設け、農務、工務、商務、編纂の四課を置く

（内山下 新小川町の試験所あり、石鹼、香水、蠟脂、植物油等を所管す。）

2月 邏卒を巡査と改称

2月 ローマ字論起る（西周）

2月 築地采女町、吉竹長左エ門、洗濯、化粧しやぼん製造販売広告（東京日日）

3月 銀座―日本橋、人道車馬道の区別について布令

区別線に街路樹を植える

4月 横浜八十七番アウグリン、紙、鏡、洗濯曹達、酒、天秤の販売広告（日新真事

誌）

9月 雷門―新橋 乗合二階馬車通る

12月 勸業寮オリ―ブ樹をイタリ―より取寄せ南方諸県に分植す。

12月 小野組破産

○ 奥博、技術伝習生、石川治平巻煙草の製造を始む

○ 新髮令以來シヤポ流行（頬かむり手拭禁止）  
6月 有恒社 英國製機械と技師により洋紙製造

明治八年

1月 横濱平沼に洋燧製造場建設にかゝる（戸部のブラハル工場か）

1月 北海道屯田兵募集

1月 郵便為替始まる。

2月 英仏横濱 駐屯兵引揚

3月 東京市にガス灯点火

4月 清水誠 吉井友実の三田邸にマッチ工場を設く

5月 精製牛酪 鷹号会社の広告 クレセント・ブランド（月屋）（横濱毎日）

7月 王子抄紙会社操業開始広告（横毎）

7月 田中久重 電機工場設立（東芝の始り）

○ 香（化粧）樟（洗濯） 水（加里） ベッコウ（透明） 沙盆（石鹼）及原料の

牛油 ソータも相当多量の輸入あり（横濱毎日）

12月 横濱にマクリスマス音楽会開催

○ テボス印ランプ油（石油）広告

一八七六

明治九年

- 横浜 堤 透明石鹼を造る
- 大阪 熊谷勉造石鹼工場の設立この頃か
- 6月 東京府令にて紙幣の真偽鑑定に石鹼水の使用を禁ず

1月 煙草税実施

3月 帯刀禁止令公布

3月 男子二十支に満つるを以て成年とす(太政官令)

4月 諸学校日旺休日(ドントク) 土旺半ドンとなる

8月 浅草象浮会社 石鹼製造開始(四方田敬直)

9月 大阪堂島 東京麹殻町に米商会所設立

9月 關拓使 札幌にビール醸造所を建つ

12月 横浜 本町通り七十番ポールン商会 水つかり石鹼二箱(七日)同じく沈没船

ナイル号よりの引揚石鹼一箱(十三日)の競売広告(横毎)

○ 堀江小十郎鳴春舎を向島中ノ鄉村に設立 石鹼製造を計画

○ 横須賀造船所 舍密係を置き(栄川艦材置場)へット並に石鹼を造る(船廠史)

○ 箱根温泉 上等一泊三十一匁 中食十二匁五厘 中等一泊十九匁中食

八号 下等手賄温氣料一人一晝夜二号 飯米焚出料一日一号

○ 「西洋百工新書」 宮崎柳條（石鹼製法）

○ 戮明舎改め牛込舎となる。

○ 長崎品川貞五郎又新舎工場

明治十年

1月 安全火止石油（ランプ用石炭油）販売広告（郵報）

1月 美精水（香水油）高村製広告（郵報）

2月 西南戦争はじまる。

2月 東洋社石鹼工場広告（郵報）

2月 精製生乳酪 岩浪長藏広告（日々）

3月 香水一箱拾得公告 東京警視本署（横毎）

3月 軽気球を造る 熊本籠城対策

4月 西洋料理広告 三河屋御一人前並三十号 中等五十号 上等七十五号

号 ライスカレー十二号五厘 コーヒー二号

4月 擢付不（マツチ）売捌規則 新熾社広告

5月 桜の水（香水）さくら油（香油）よし町よしや広告大瓶十六号 小瓶九号五

厘

6月 羅紗製造所を建設（千住製絨所 内務省）

6月 象浮社 象印化粧石鹼（薔薇小判形 葡萄小判形 洋子角形）

洗濯石鹼（一本二斤掛） 売捌大伝馬町回春社広告

7月 片カナ広告 洋酒 アサヒヤ（朝野）

8月 疥癬石鹼（薬用）丸屋善八（丸善）広告

8月 牛込新小川町（工作局 内山下分局出張所）の石鹼試験所を石鹼製造機械一式

つき 大政官より三河幸三郎 一年間金六十五円二十匁六厘にて借用す（後

の江水舎）（工部省沿革報告明二二年刊 大蔵省）

8月 人力車用メーター発明広告

8月 蚊遣香 観成園広告 上製二厘 並製一厘五毛

8月 第一回内国勲業博覧会開会 石鹼（長崎一 東京三 横浜二 高知一）マッチ

鉛筆等の国産品出品

9月 コレラ流行

9月 ころり除け石炭酸石鹼 上條幸助製広告（朝野）三匁五厘

10月 開拓使ビール発売 大瓶十六匁 小瓶十匁 広告

10月 西洋模製御菓子 東两国 風月堂米津松造広告

10月 博覧会来観者四十五万四千人

10月 工部省 エレホン試験（電話）

○ 横浜 C・G・ウイルソンの蒸気器械売捌廣告

○ 小林富次郎 村田文助 鳴春舎の石鹼製造に加盟

11月 天長節夜会にダンスを行う

7月 牛込新小川町にて飯田某たはこの莖を焼きポッターズ(加里)を製す(朝野)

7月 おにほひ紙 蘭麝香 横山町長谷川利助廣告 上等五十支 中等廿五支

7月 薔薇水 大瓶十支 水髮香一台十支 芝神明花露屋宗三郎 廣告

7月 薰袋 玉露一对三十支 一ヶ十六支 本所松井町清水善勝 廣告

○ 東京府石鹼工場 浅草象浮町四方田敬直(男工七 女工二)資本金二一〇〇円

工場建坪四八坪 生産高年約四九〇〇円

○ 東京市地価一等地三九五五円七五支(一〇〇坪)類外九等二円二五支

大工労賃三五支 日雇二〇一六支 米一石四円六四支 醬

油七円八八支 酒七円五五支 油一石二五円五四支

○ 井上孝兵衛 石鹼工場

○ 東京府統計 人口一〇七二五六〇 商戸二七七五八 小間物九三六

舶采品二五三 白粉一 紅一六

## 明治十一年

- 1月 石鹼業者親睦会、京浜製造業者八社、柳橋柳屋にて才一回親睦会開催（堀江沿草史）
- 2月 銀座、岸田吟香の販売品、自家製化粧品（吟香水、王免膏、白蓋蔽、王椿）請売品（艶の水、花王散、玉の肌、回春社の石鹼）を広告
- 2月 印刷局、石鹼を製造し始める
- 3月 虎ノ門工部大学で東京電信中央局開業式にアーク灯を呉火す
- 3月 東京商法会議所設立
- 3月 はみがき水 Tooth Water 上野北大門町長井氏製一瓶金六匁二厘五毛 広告
- 4月 大阪天満禾広坊にて牛膏を以て白蠟及ヘリット（ハット）製造
- 5月 芝の山崎塊一製香水、宮内省に納入（曙）
- 5月 本町の中村庄ハ、かみあらひ粉広告（日々）
- 7月 無鉛洋法白粉「花の宴」山崎製広告
- 7月 官許無害（無鉛）おしろい「玉芙蓉」竹川町製広告
- 8月 蠟燭と石鹼工場との設置願（本所、田札正家）
- 10月 新送香油「君ヶ香」別製「艶花油」麴町垣見製広告

(New Select Fragrance Oil と欧文普記)

5月 東京株式取引所設立

12月 東京化学会成立

12月 印刷局を設置

11月 黒梓死亡広告「日々」に初見 後藤象二郎娘の死を岩崎殊之助名にて載す。

2月 榎本武揚 透明サボン三種 化粧サボン二種、ココスサボン(椰子石鹼)、香

水 齒磨 白粉 髪油の処方をロシヤ技師より一〇〇ルブルで伝授をうけ

露都日本公使館の厨房にて大岡金太郎に実習さす。(榎本文書)二月廿一日其

他

4月 東京府勸業課雑誌才十五号4月 象浮社石鹼原料としてヤブニツケイ買入

こと、硬石鹼製造法を載す。

11月 燻<sup>カウリ</sup> 天野組製造販売広告

○ 平尾質平店創業 十二年馬喰町に移る。

11月 丸屋善七、石鹼製造所(小日向竹島町)出火

12月 波多保全堂神田かじ町に移転開店披露 三日間半価提供の上粗品呈上広告

花王散 一匁袋八 五厘 二匁袋八一匁

五匁箱入 二匁五厘 十匁挽物八五匁

6月 広告ばかりの新聞発行 広告社引札屋広告

8月 旅人とまり宿 三飯付十五匁

○ 「化学読本」川本平民



一八七九

○ 町田鉄三郎 石鹼工場

○ 牛乳一合四匁

◎ 東京行石鹼工場、江水舎、井上孝兵衛、丸屋善七、牛込舎（松崎、依田）

明治十二年

1月 謹賀新年広告「日々」に初見 岸田吟香、自画像入りにて「新年の

御祝を申し上げます」

1月 東京府吏、伊豆七島を巡視しニゲシン（ヤブニツケイ）の実を採取、これを象

浮社に送りヤシ油代用として石鹼を製造し精良の製品を得たり（日々）

3月 印刷局御製造諸品、虎捌広告中に「粧石鹼一箱三ヶ入、石鹼一箱十二本入、靴

墨等の品目あり

3月 東京十五区の車輛数（總計三九〇四九台）人口一〇二四九六八

二匹立馬車 一七六台 一匹立 二八〇

二人乗人力車 一四、九九八 一人乗 六、三六六

自 転 車 二

荷 積 馬 車 六六 牛 車 五九

荷 積 大 中 小 車 一四九〇六 西 洋 形 大 中 小 車 二、二七六

4月 「工業新報」 石鹼製造法を連載

5月 ④岩谷松平 銀座三丁目、紺白飛白上布 琉球紬 筑前絞販売広告

(安売り十六年頃から)

5月 桜田ビール発売 大瓶一ダース一円八十五銭 樽(五ガロン入)

二百五十銭

販売店十三店中に 西洋小間物問屋四 薬店二あり

6月 コレラ病除け、匂袋 金五銭 平尾賢平広告

7月 コレラ流行につき郵便物消毒につき、変色遅延の駅迎局広告

6月 西洋形糸心蠟燭発売広告 芝罘平町蠟燭会社小野寺常治

7月 石炭酸シヤボン広告(後の葉シヤボン)岸田吟香

7月 模造品の字義「舶来模造(製)品とは蝙蝠傘、カバン、帽子、石鹼

摺付木、朋乱、ランプ、シマーツ、衿巻其の他の品類等を舶来模造

(製)品と見認出」一新聞記事(大阪に舶来品模造共進会開催され

たり)

8月 東京海上保険会社開業(貨物保険)

9月 生命保険会社設立を依頼

9月 ガラス類磨、光泉発売、浅草諏訪町鶴屋宗吉広告

9月 官許 美艷水発売 壹條堂広告

9月 御くすり、おしろい、玉たれ香、紀伊国屋伝兵衛広告

10月 エレキメッキ 日本橋禪正町電鍍舎広告

10月 新越社 マツ子販売に販売会社を東京 大阪 長崎に設置

11月 精製香水及梅花香油 薔薇香香油 西洋梳油 棒髮付 京橋区山下町木元忠兵

工広告

12月 いつゝ油 小野善次郎広告

12月 風月堂 ビスケット製造器祇取寄

12月 開運はみがき 伊勢国河村古徳広告

○ コレラ患者 初発より十一月八日まで

全国にて 一六三二五六人

死亡 九四八四八人

○ 甲府の葡萄酒醸造会社にて初めて国産のブドウ酒三十石を造る

◎ 東京府石鹼工場 丸屋善七 江水舎 牛込舎 井上孝兵衛 林庄九郎

○ 名古屋外堀町 化製組石鹼製造所創立(十二年五月)

○ 江水舎 石鹼ロール機輸入

○ 大阪 春元重助創業

1月 薬品取扱規則制定

1月 東京調薬会社広告 白 膏 赤の標目気灯を掲げ協同盟約を結ぶ

二十二店

2月 粉石鹼 二百五十磅輸入

4月 英国ノベルスイキスフロシープ社より破裂薬(原名ダイナマイト)

買上げにつき太政官軍務部陸海軍省立会の破裂試験

3月 色石鹼輸入

6月 内国製砂盆類卸大安売 本町ニ丁目岡本鉦太郎広告

6月 小町水 小町洗粉 蕃椒製香水 平尾賛平広告

6月 勸業局千住製絨所羅紗販売廣告

7月 イギリス油 ENKOL HAIRROL 一瓶七ギ 上野広小路山崎屋勘兵卫広告

7月 佐田介石 ランプ亡国論

8月 太田胃散 広告

8月 官許 薬しやぼん定価四ギ 岸田吟香広告

9月 字真引延 レアルワクラ 京橋 江不松四郎

11月 工場松下概則布達(内務 工務 大藏及開拓使の工場漸次払下げ民有たらしめること)

11月 京京市街馬車鉄道(新橋―上野―浅草)許可

11月 砂糖国産協議のための糖蔗集談会開く

11月 富岡製糸所、新町屑糸紡績所、牛住製絨所、松下広告

11月 印刷局製造場は、これまでランプスは燐燭なりしが近々ガス灯をと  
りつけらる由。

○ 大蔵省には印刷局管轄の抄紙、活版、写真、石鹼等の工場あり。  
開拓便にはパン、ビール、ブドウ酒、缶詰、鱈肝油、燧木等の製造所  
あり。

○ 内務省これまで十五日が月給支給日なりしが本月より十七日に改めら  
れたり。

○ 本所横網町に共立商社設立。日常必需品を株主に廉価に売る——消費  
組合の始り（5月）

○ 牛込拂方町、西条重兵衛石鹼工場（東京府統計書十七年より）

○ 神戸播摩幸七鳴行舎石鹼工場

○ 「百科工業新書」宮崎柳糸

◎ 東京府石鹼工場、井上孝兵衛、鳴春社、東京石鹼社、林庄九郎

1月 新海製造アルコール販売広告 室町資生堂

2月 佐々木氏製 光沢布ツルギ 宝丹主人保証にて広告

2月 大阪造幣局、ルブラン法ソーダ製造開始

3月 不挽町電信局製機場にて伝話器の製造を始める。

3月 洋傘製造会社広告

4月 印刷局、洗濯石鹼シヤロウ製造機械松下

4月 東京職工学校創立（藏前高等工業—大岡山工業大学）

4月 農商務省設置（内務省勸業局、大藏省商務局、を廃止）

5月 太政官統計院を設置

5月 銀座岩谷松平、天狗煙草 広告

5月 姫柳 かみ洗粉 本町中村庄ハ 広告

6月 浅草向柳原町、東京石鹼社 広告

7月 官許今いらす日にやけぬ水。日にやけたを落すぬか、稲田現右工門 広告

7月 王子ぬか、ケレ一本舗 鶴岡市太郎 広告

7月 明治生命保険会社開業

8月 警視庁 以下の工場を監督する布選（当時 工場の種類）

瓦斯 焦煤、タール、テレピン、ペッチ、魚油、塩酸、硝酸、硫酸、其他揮発

劇烈の舍密物、獸類脂肪筋骨化製所、製皮、膠、肥料、マツ子、焼酎、アルコ

ール、諸銻物、鋸鉞、ガラス、石灰、煉化瓦、陶造、石膏、カキ灰、紙漉、ホ

口精化 陶器 石。礮。澱粉の各製造所貯藏所

9月 免稅、芋ブランデー 上等一瓶五十九錢、並等一瓶四十七錢 千葉

精業社 広告

9月 品川工作分局製硝子器具販賣 いわしや 広告

10月 いづつ油 八千代香油 香水 小野善次郎 広告

10月 つやの水 保全堂 広告

11月 若線(しらがそめ) 王のはた(あれとめ) 仙齡散(はみがき) 大鐘主佐

広告

11月 造幣局 曹達発売広告

曹達塩 結晶炭酸曹達(重曹並苛性曹達は追て発売すべし)

12月 海軍 ナイトログラシアンと綿火薬の混合爆薬試験

12月 砂糖会社設立

◎ 東京府の石礮工場 鳴春社(堀江) 林庄九郎 町田鉄三郎 牛込舎(依田)

東京石礮(玉井)

○ 舶来品排斥国産品奨励

3月 第二回内国勸業博覧会に京都舎密局は練糸用石礮を出品 (同報告書に江水舎

機械煉製法の解説あり)

○ 寺島村 山田重吉 石礮工場

明治十五年

- 1月 人力車八十輛神戸より香港に輸出
- 2月 岸田、精錫水値上げ広告 三月より六匁二厘五毛を六匁五厘にする
- 2月 兵庫工作分局工場私下広告 (後に川崎造船所となる)
- 3月 舶来輸入の多きは金中 唐糸に次で砂糖 北海道モンペツ製糖所に  
て甜菜糖製造
- 3月 新燧社マツチ香港へ輸出
- 3月 警視総監 開店売出しの景物、籤当りを禁止す
- 3月 ⊕なんでも大売会廣告 岩谷松平
- 3月 結婚廣告「日々」初見
- 4月 坂垣死すとも自由は死せず(岐阜にて兇漢に遭う)
- 4月 官許 水歯磨 神水(米、大博士伝法) 鈴不新造製 広告
- 5月 銅製 アルコール器械、浅草松清町筒井寅松登売廣告
- 5月 蝕乙製法によるテール牛酪 製造販売 駒場牧牛所 三青舎広告
- 5月 倭いんき(筆字用インキ) 平沢忠治郎製 広告
- 6月 捕鯨船尾張丸進水 日東捕鯨会社
- 7月 米 ブラシ長發明、電気灯器概類一切の日本<sup>ジャパニオン</sup>全国特売約束 大倉組



及ワルス、ホール商会 広告

7月 香王、守田発売広告、艶線(養毛料)塚本製 広告

8月 コレラ病猖獗

8月 造幣局製造曹達塩(一〇〇ポンド樽入四円一八匁)結晶炭酸曹達(三円三八匁)

10月 宝丹入りはみがき君が袖、守田治兵衛 広告

11月 銀座二丁目大倉組の洋磁四千挺掛のアイク灯炎火す

11月 牛乳搾取販売広告、牛乳一台三匁五厘、粉ミルク一瓶二十七匁、バター一斤

九十匁

11月 印刷局より聖上に献上せる石鹼、香水その進歩を賞められる

12月 過燐酸石灰肥料一ポンド四匁八厘、離合社広告

◎ 東京府石鹼工場、東京石鹼社(玉井)町田鉄三郎

10月 日本銀行開業

一八八三

明治十六年

2月 汐留、電線製造所、一月中の操業既に二十哩の電線出承せりと

2月 軍艦へ電気灯設置は扶桑艦は備わり引続き東船其他へも追々

2月 東京府士族高橋於免吉、昆布よりヨードを製し、水産博物館に出品

3月 紙幣四百九万四千円余印刷局構内に於て本月廿六日より尙七日

(雨天順延)午前九時より午後二時迄焼棄 人民從覽差許候条

此旨公告候也 大藏省

4月 工作局深川セメント工場拝借浅野工場経営広告浅野惣一郎

6月 品川工作分局製ガラス製品 セリ売広告

6月 エルネー・ピフル製 頭髮の豊年 強壯水 横浜コッキング 広告

L.T. PIVER 頭髪の豊年 強壯水 横浜コッキング

6月 医薬用 白色格魯々頭 発売広告 大阪春元重助 東京島久 資生

堂

6月 品川工作分局 板硝子製造職工募集

7月 万民之灯火 星印石炭油 ニューヨーク、ロバート・エルス商会広

告

7月 山下門内 外賓接待所落成 鹿鳴館と称す

7月 左横書広告「日々」初見

官許 臭気止 小野の防臭散 横浜小野ス七

7月 競潜用端舟を桐板にて造る

7月 英人ゼーエフト氏築地入舟町に廿五馬力の氷製造機を据付 人造氷

を製造販売

7月 守田 巻香散(匂袋) 巻売 広告

一八八四

8月 新燧社マツキ工場 女職工 三百名募集 広告

9月 砲矢工廠 夜業用として電気灯を設置に決定

10月 丸善 英文広告

12月 横須賀にて長さ六間四尺余の鯨あがる

○ 大阪 春元重助熊谷工場を引継ぐ

◎ 大阪小間物卸商組合 十六年七月十二日認可 組合員 一五八名

大阪舶来物品商組合 全 八一五

大阪和洋小間物商組合 全 一四五

大阪石鹼商組合 十七年一月九日 一六二

◎ 大阪石鹼工場 四工場 十六年十二月調

(大阪府勸業年報に依る)

東京

二五年四月

西洋小間物  
二〇年五月

製造業  
二三年五月

明治十七年

1月 無臭肝油鉛 森島松兵衛 広告

2月 爆薬の電気による点火試験成功 田中久重(東芝創立者)

2月 高松豊吉各県下工場巡回報告(染色 酒 摺付木 石鹼 石油)

2月 牛込舎石鹼工場 本業者変更広告(石鹼 琥珀 漉紙)

3月 銅版、石版、活版製版、玄々堂広告

3月 茶実油、綿種油、石鹼試製、吉岡哲太郎

3月 ノルマンデー牛酪バター（錫函入）販売広告

4月 京都祇園一力亭の辻に電気灯呉火

4月 隅田川の海軍端舟競漕会余興の水雷火爆発を早取字真にとる

4月 下駄靴（表は皮、底は桎材）佐藤民藏 広告

5月 避雷鍼（雷除ナ）製造とりつけ 田中久重 広告

6月 農商務省 商標登録所設置

6月 かほ小き 香布 今井清太郎 広告

7月 商業拡張字真灯（小川一真の幻灯広告）を⊕岩谷店頭で披露

8月 早取字真事務営業広告 江崎礼二

9月 安眠蚊遣かやり香（かやいらず）山内薬舗 広告

9月 大阪難波新池夜相撲に電気灯を呉火（ナイターの始り）

9月 日立新聞社ハガキ号外を出す（祝祭休日などの読者へ速報記事発生のため）

10月 硝 塩酸値下げ、大阪川口硫酸製造会社 広告

10月 和製、極上、靴墨、泉瓦組商店 広告

11月 日本電話会社設立計画

11月 風月堂、仏蘭西煎餅（カップル）売出広告

一八八五

11月 ローマ字会結成、幹事神田乃武

12月 茨木駅構内にて汽車衝突

7月 長崎造船所を三菱会社に貸下げ

9月 深川セメント製造所を浅野惣一郎に払下げ

6月 鹿鳴館ダンス教習会開く

○ 相馬保太郎 石鹼工場

○ 資生堂 けはひ薬蒼生膏広告

明治十八年

1月 日々新聞 午前版 午後版(朝、夕刊)発行

1月 農務局 水産試験所 魚油から石鹼を製す

1月 償金五百形広告(薬効なき時は薬代返却)米国貿易商会

2月 十五、十六年中所々の湯屋にて入浴中衣服を着換へられし者にその

品下げ渡しし広告 警視庁

3月 トーマス・エイ エヂソン氏発明高声伝話機一对、白熱電灯三十六

ヶ(炭素線は京都産竹製)工部大学校に寄贈あり

4月 造幣局にて製造中の炭酸曹達は五月一日より一時中止

4月 隅田川一々蒸汽煙航  
農務省、専売特許所を設置す

5月 日本銀行兌換紙幣発行

5月 菓子醤油税則制定

5月 鹿鳴館踏舞会開催

5月 オリーブ樹、長崎県を除き兵庫、和歌山、愛知、高知、宮崎、鹿児島の名産の

生育成功(食用、薬用、石鹼、緻密機械用、魚肉貯蔵用)

6月 アイスクリーム(チョコレート、コーヒー、ワニール)、オータアイス(スト

ロベリ、グースベリ、ピーチ、レモン、パインアップル)一コート五十枚

一コップ十枚、御進物用三時間保証稱詰発売広告、京橋、風月堂、米津松造

6月 千束村温泉(浅草千束町)及新吉原廓内電灯工事中

6月 品川硝子製造所は磯部栄一、西村勝三に松下げ

6月 大阪淀川大洪水

7月 東京瓦斯局松下げ広告(八月汐沢栄一、大倉五八郎に決定)

7月 麝香切手発行、荳割切手同盟(守田、小西、高木、伴、円城、森島)

7月 室内電氣灯、三吉正一広告

7月 登録商標、新進社マツチ、碓印、赤馬印広告

8月 硫酸値下げ、広告

8月 大磯に海水浴場開く

9月 東京女子師範学校女生徒一同束髪となる

9月 大阪商法会議所、不景気原因討議

9月 ニッケール鍍金発明 野口勉 広告

9月 菓餅製法を各新聞に載す

9月 束髪髻販売おかめかもしや、芝口川北屋三右工門

9月 横文印刷 京橋報告堂広告

9月 電信局 電話機數十ヶ製造に着手

10月 商標 花王散広告

10月 郵便電信為替 小為替創始

11月 ①岩谷 交際会(クラブ)を開く

11月 束髪 散髪必用香油発売 垣見佑右工門広告

11月 何新聞とも翌日配達なれば定価半額 広告

12月 神戸商館 樟腦輸出のため買占 市価高騰

12月 新聞社読者獲得競争に景物を附す

12月 サンドウキツチ ヒールステイ、レストハイ、ソウセイチロール

(一四各六ヶ) コップアイ、チヨコレート、紅茶(一コップ六ヶ) 牛

乳(一ガラス四ヶ) 風月堂

12月 工部省廃止 逓信省設置 内閣に統計局を置く

○ 吉村又作 石炭工場創業

○ 枇谷順天館（美願水）創業

○ 浅草水族館開く

○ 大阪 松原一郎 石鹼工場

○ 「製法新書」渡辺逯

○ 内務省、甲オ一号達で黄燐マツチの製造禁止さる

○ 警視庁、蒸気ポンプ購入

明治十九年

1月 日々新聞 銘酒「穩」の色刷

1月 ⊕岩谷 店頭演舌会を毎月二回開催

1月 電気講習所 携帯電燈（電池応用）の製造に着手

1月 新バタ 塩入、塩無、大安売、耕牧舎広告

2月 懐中速記万年筆、与論社広告

2月 鹿鳴館 園内に大蠟燭千本がけのガス灯工事

3月 大阪、堺間の鉄道開通に伴い、人力車組合汽車と競争

3月 帝國大学令公布

3月 東京製油組開業（安心火止石油の製造販売）田代虎四郎



4月 カストルオイル製造会社(添械用油製造)名古屋に創立

4月 農商工業統計 毎年一回各府県管内の統計を調製 其進退消長を審  
に解説し農商務省に上申すべき布達を出す

5月 内地雜居論

5月 大相撲を新聞別刷附録とす

5月 兵庫造船所を川崎正造に貸下げ

5月 東京電気灯会社創立(矢島作郎 波沢栄一 安田善太郎 大倉瓦八郎)

7月 防虫香水発売 鈴不弥兵工 広告

7月 丸善 パヒログラフ印刷器(こんやく版)広告

7月 清腋鹼(ゆきが 其他兼用石鹼)名草堂 発売広告

7月 純香水(半けち 手拭用)雨宮藤夫 広告

8月 輕便靴(唐木 堅木製)船見林七 広告

8月 海軍各工場電灯設置に決定

8月 支那天津に輸出の石鹼は化粧洗濯共に気配よろしからず

8月 コレラ予防 葡萄酒 中村庄八 広告

9月 世界オナーヤリネ大曲馬団 広告

9月 香玉(匂袋) 四薰子(はなぐすり) 守田治兵工 広告

9月 「日々」二百十日の各地天候の電報を別刷附録

9月 大阪に洋食流行 上等七十匁 並五十匁

甘酒屋は珈琲売となりコップ一杯二匁

9月 各新聞代値下げ

日々二匁五厘 朝野二匁 大和一匁

(これ迄四匁) 時事二匁 読売一匁三厘

広告料(一行五号活字廿五字詰)一日七匁(これまで八匁)

9月 印刷局製造 晒粉 硫酸一手販売 藤田組 広告

10月 ラムプ製造所 独コエッペン ウエンキ商会 広告

10月 肉食会注意 広告 洪養社

ロース一斤 十六匁

最上肉 九匁 上等七匁 中等五匁

11月 器械鉦油製造 糸川器械油製造商会 重見兵輔 広告

11月 捕鯨器械 北海鯨会社 下坂昆吾 発明

11月 ノルマント号事件 義捐金募集(五新聞社聯合)

11月 臭油精製器械 農商務省水産局試験課にて平野造船所雇外人キング製作の精製

機を据付試験

11月 「ぬれからす」偽造品「ぬれはからす」発売者に重禁錮十五日罰金五円申し渡さ

る。

11月 ①岩谷「チト早けれと歳暮」広告

12月 浅野セメント、化学士及職工長を研究のため欧米派遣

12月 帽子の洗濯 色揚 内田虎吉 広告

12月 軽便携帯 安火 広告

12月 ワルサム懐中時計、廿年間保証 広告

12月 洋袴ズボン鞆延しわめ機、井村忠彌発明 広告

12月 求髮水、婦養香（洋風肉色白粉）本郷かねやす 広告

○ 中ノ郷村に三田土ゴム会社創立

○ 陸奥宗光、米国より蓄音機を持ち来る

○ 4月 小学、中学、師範学校令公布

○ 大阪、由利岩裁、石鹼工場

明治二十年

1月 婦人求髮髻、附髻、婦人帽子並附属品小間物、化粧品及美盛香、子ールテテカ

ル工ム油、広告（髻形圖十五六種）出雲屋熊次郎

1月 東京電灯会社、市中に矣灯開始

1月 仏国演劇を不税町厚生館に公開、仏人俳優六名、レイチチミード（

二人臆病者）レイチナルポニエー（炭焼師）

1月 新聞値下げ一枚一匁五厘、一ヶ月前金三十匁

1月 瓦斯値下げ 一〇〇〇立方米三円を五分引とす

2月 医科大学御座教師トクトル・ベルツ 皮裂ひびの妙薬を公開（ベルツ水）

2月 髪あらい粉 松の美とり 改正広告 浅草中村忠七

2月 ぬれがらす（便利おはぐろ）大阪益田才一堂 広告

2月 上野 工芸品共進会に四ヶ所電気灯据付

3月 鯨新鮮赤肉販売広告 鯨組

3月 跡見花露（跡見家のお家騒動）偽りの死亡広告

3月 馬肉販売許可

3月 御はみがき有功君散 大田君三製 広告

3月 鯨肉料理法解説直伝

4月 東京府 甲才ニ号布達の同業組合準則により蠟燭製造人組合認可申請

4月 しら雪（塩製はみがき）播洲赤穂 新豊社製 販売広告

4月 フットボール ベースボール道具 美満津 広告

5月 シーメンス製造電気灯其他利突サスケ商会 広告

5月 蒸気唧筒 米面貿易商会 広告

5月 欧米大角スヘイラ（レスリング？）興業広告

5月 大蔵省関税局発表、業界関係品十九年輸出高

樟 腦 五、四、五〇、〇三三斤 九二八〇二七円

薄荷油 六〇九八七 六二二〇六

硫 酸 七九五四五五斤 四五一四五円  
 臭 油 二四二六九二二 八七一五八  
 木 蠟 二一三三二五〇 三二六一七四  
 マ ッ チ 一、二一八三三二 三七八〇一七  
 洗濯石鹼 三、三七五〇六五 五五一五一  
 化粧石鹼 四、七二二

輸出総額 四八八七万円  
 輸入総額 三、二一六万円

5月 輸入自転車(二輪車、三輪車)予約販売 横浜、百七十九番館  
 フーストン社

5月 上野 教育博物館にて講話会開催

石鹼製造上の注意 高松 豊吉

燃料の用い方 中沢 岩太

煉化石並家具 辰野 金吾

セメントの説 高山 甚太郎

5月 シヤップ新古交換 便利堂 広告

◎ 6月 長瀬富郎商店(洋物店)開店(六月十九日)

6月 存下油商大親睦会 木挽町厚生館にて油小売人千人集会

6月 独逸文広告(独逸婦人との結婚、柏村庸)

6月 香露葡萄酒 近藤利兵工 広告

6月 人造氷売出 広告 築地製氷会社

7月 大日本製菓会社 春の露 都の春 花の露(香水) 明の露(含嗽水) コー  
ルドクリーム 初梅(化粧下) 広告

7月 横浜居留地仏国人仏国祭を催す 領事館へ参賀 グランドホテルの  
官民共同宴 国旗 球灯 晝夜烟花

フランス祭の皮切りは横須賀造船所の四十余人の仏人が明治元年に  
慰安会運動会を行しを始めとす (堤文書)

7月 御衣の香(御にほひ袋) 風かをる(襟かけ) 吉田安五郎製 広告

7月 岸田 兼しやぼん三長に値下げ 広告

7月 鉄道局 新橋構内にて電氣車の試験をなす

7月 米田洗濯会社伝習 改良洗濯 色あげ 染替 兄弟社 広告

8月 菊花水(おしろい下) 本舗 小町水本舗に類似商標にて謝罪 広告

8月 天然氷は無害 広告

8月 美人髪(ちりれ毛 くせ毛直し) 浅草柴原製発売 佐野小兵工 広告

8月 教科書売捌(長谷部仲彦 御園白粉発明者) 広告

9月 小池八郎の鉛筆製造所にて起業補助として存より二千円貸与

9月 宝冊 一頁 広告

9月 鹿尾島 揖宿海岸にて温泉熱利用食塩製造 隈部常太郎

9月 改良安全剃刀發明、小泉久右工門、発売湯淺七左工門広告

9月 新製ホルド(板紙)需要激増にて印刷局も製造

9月 冬衣洋服 築地、広瀬次郎 広告

上等背広(短着、ツボン共)九円七十銭

中等 七円六十五銭 並六円九十銭

11月 農商務省商務局、伊国製乾鰹鈍試験

11月 小町紅商標茶例違反事件

12月 クリスマス用飾菓、進贈用菓、風月堂広告

12月 燻製鮭(スモークサケ)(一名くすべさけ)北海道物産商会 広告

12月 農商務省除虫菊種子を各県に分配

○ 国産オルガン製作(浜松、山葉寅楠)

○ 村井兄弟商会 煙草発売

○ 化粧品問屋花王堂開業(田中吉兵衛)

○ 丸善藥店(丸善と分離)創業

○ 「東京府工芸品共進会報告書」に高松豊吉、石岐の機械煉製法を紹介

○ 加藤苗吉 石岐工場

○ 武田白 石岐工場

(句?)

○ 「製法五百題」芦田泉雄

○5月 東京西洋小間物商組合(二〇年五月成立 京橋区銀座四丁目一六)

組合員

二五年 一一三人

二六 二一五

二七 (解散小間物化粧品組合に合併?)

東京府 石鹼工場 七工場

明治廿一年

1月 熱海 東京間電話開通

2月 九重おしろい、水おしろい、菊水おしろい下、花樂堂製 広告

2月 根岸金杉村、岡野汁粉店 広告

2月 支那へ輸出の石鹼、本邦の輸出税5%のため延びはやむ、神戸播磨幸七当局に減免方請願

3月 雪の花、水おしろい、草集堂製 広告

3月 浅草公園写真師江崎禮二、米田より人造光線薬(マグネシア)を取寄せ夜間写影を始める。

3月 耐水布、発明、高木氏景廣告



3月 西洋奇術、世界無比不思議のブラック・アート千歳座で興行

3月 革の洗濯、色上げ直し、南伝馬町谷沢カバン洋物店 広告

3月 ホクシング(拳法)解説新聞に載る。

4月 薰天狗、香水、香油、衛生堂製 広告

4月 下谷黒門町に可否茶館

4月 銀座十字屋梅於輪(西洋提琴)売出 広告

5月 米国製器械油(ニウラルク府クラークソン、ホルト製油会社)大日本専売引受

人大川平三郎(王子製紙)大販売所 求林堂 広告

5月 学位令により始めて文学、法学、医学、理学、工学各五名宛の博士

生誕

5月 東京理化学会、諸工業品製造を通信伝授 広告

5月 理化応用、特效、五彩石鹼シロマン、加藤活版所製広告(除虫、防臭、洗髪、化粧)

樺、紅、白、黄、青色

6月 女新聞(毎日旺刊)発刊

6月 三井物産会社、英国製紡績染色電気蒸気缶等の諸機械販売広告

6月 靴保存油、独製フェタシユワルソ、レールフェツフ、広告

7月 (十七日新聞に「昨日磐梯山爆発」)

7月 神奈川県令にて海水浴男女混交を禁止

8月 蒸気精米 広告

8月 各種發明法伝習 日本授産館 広告

8月 万围無類 予防香水 大阪竹中有益館 広告

牡丹 花桶 蘭凌 花露水

10月 青ペンキニトン 唐糸蠟燭二百五十箱 カポリック石鹼百ターズ 羅紗類種々

横浜五十八番ホールにて競売 広告

10月 軽便摺附木の新燧社 農商務省へ資本金三十万円拝借出願

10月 東京商工会 安沢栄一 内国勸業博覧会に左記各種外国製機械の陳列を希望上

申す 藍 魚油 水産の貯蔵及缶詰 麦酒醸造 綿布及メリヤス類の形付 壁

紙形付 石鹼 西洋蠟燭 製氷

10月 蒸気機関の製造所は横浜製鉄 赤羽工作局(長崎) 兵庫造船所な

るが深川安宅にも新設さる

10月 上野山下館の西洋三階造旅館の宿泊料廿三匁以上

11月 新燧社 本所柳原町工場等公売広告 負債約五十六万余円

11月 機械適用油販売広告 荘保商店

11月 米国ニウホーム製裁縫メシイン一手売捌 銀座玉屋 広告

12月 ゴム印判製造 元祖江不松四郎 広告

12月 文明 薔薇化粧(独製法 男女共用 化粧水)下谷 堺屋 広告

12月 白蠟燭(系心)保母国三郎發明 製造販売 広告

12月 舶来 黒質イムペリアピール販売 精養軒 亀屋 広告

12月 特許意匠条令公布

東京府調

明治二十一年の身代限り 五三三人

負債額 三七九四円

公売金高 五〇四九円

身分別 華族 一人

官吏 三三

車夫 三六

其他商工業者

東京府石鹼工場 二五工場

○ 資生堂福原衛生齒磨石鹼発売

明治二十二年

一八八九

1月 軽便電気灯理由説明及使用方法(株式募集の解説)広告

1月 煉乳

1月 白バター 塩バター クリーム 牧田煉乳店 広告

1月 エジソン発明 完全撮音機 ホラクラフ 発売広告

横浜 エジソン氏代理店 フレジャー商会

1月 広告取扱 京橋広益社 広告

1月 電気発動機半馬力から十五馬力まで大阪電灯会社 広告

2月 東京電灯会社 紀元節祝賀電気灯は銀座三丁目の高さ五丈の股本に  
国旗交し、その上を雨障子にておほい五十燭光の電灯三個を臭火  
す。又電灯局門前には段煥電灯三十燭光九個を装備す。

2月 大日本憲法 発布

3月 ゴム輪製(大小の二輪、三輪車)自転車販売並貸車(製造元横浜  
野)山崎商店 広告

3月 鉄底靴発明 広告 日本鉄靴会社

3月 磨<sup>サボリイ</sup>石<sup>イ</sup>諭(紐育府、エノックモルカンスソンス商会製造)

日本全国一手特約販売 日支貿易商会 広告

3月 スコト乳菓(次亜燐酸石灰曹達レール油 肝油エムルション)輸  
入販売広告

3月 牛乳一合ニ五厘五厘 独逸ビール中味一本八錢 一ダース九十錢

3月 器械鉦油発売 高野<sup>ボウ</sup>初三 広告

4月 無水バッテリー全国一手売 大矢時計店 広告

(ロベルト・プレート会社製 乾電池)

4月 東海道鉄道全通(十六日)官報時刻表 午前十時新橋発午後九時名  
古屋着予定 「人は一日で長浜(米原)に達し郵便は三日で豊橋に

至る」停車場附近の地価十倍に高騰等々

4月 大阪電灯会社の第一期工事 道頓堀川 住吉橋より日本橋ニッ井戸  
松屋町まで進捗試験灯終り、4日前 阪堺鉄道は五月十日より開業  
(五月十五日点灯)

5月 ガラス瓶入牛乳(従来はブリギ缶入)配達開始、香乳舎 広告

5月 石鹼乾燥室を造る 五彩石けん 加藤苗吉

5月 東京乗合馬車会社営業開始(兩國一橋橋一雷門一上野)一区  
一区 広告料「車台貼付」総車台、美濃判一枚一日二十五枚、「散

シ」広告」車内にて車掌の乗客に配布するもの一千枚三十枚。「車内  
下げ」広告」五十枚綴一日二十枚、ロンドン製馬車三十台運行 広告

6月 マッキン氏齒磨粉、金尾商店発売(通俗齒の衛生談、冊子付) 広告

6月 鹿鳴館松下げを決定

6月 男女肉体白色法、松尾華、 広告

7月 婦人 嬌風会「一夫一婦」建白

7月 人造象牙製カラカフス並木地販売、発明製造人 大工原藤吉 広告  
(セルロイド?)

7月 麦藁帽子製造広告 The Hat Manufacture.

7月 化学商議局、独逸理学博士、生田益雄、化学一般の製造品の相談に  
応ず 広告

7月 東京府下の汽機汽缶使用の工場は九十八ヶ所、汽缶數百八、最大の

もの(合計?)七百五十馬力、一ヶ年の石炭一五八七二万斤、松薪

一五〇〇〇束、木屑一二六万斤。

7月、白蠶紙(無鉛白粉)瓜生寅発明、守田室丹発売、広告

8月 大阪、絞油職工の同盟罷工、日傭賃銭の紛議解決

8月 新聞紙切抜通信開業、時事通信社、広告

8月 江戸開府三百年祭の上野の式場に二千燭光電氣灯建設

9月 器械用油(スピンドル、マンネリ、シリンドルオイル)新荷着、求林堂、広告

9月 山内組、国産機械鉦油製造販売、山内善三郎、広告

11月 ばら化粧(化粧水)堺屋製、下谷、桜か発売、広告

11月 ポマドンヌールハンドコロン、おきな屋製、広告

12月 石蠟製蠟燭、荻原友久発明、日本石蠟商会(人見寧援助)発売

12月 薬製齒磨、鳳凰散、十全堂製、広告

○ 大阪、摂津製油、始めて水圧機を搾油に用う

○ 村田亀太郎新宿旭町(天龍寺隣)に工場を設け長瀬富郎商店の専属石鹼工場となる。

○ 川上音次郎オツペケペイ節

○ 東京府石鹼工場、三五ヶ所

1月 大日本捕油肥料会社設立計画 油は機板油石蠟 香油 灯油粕は肥料とする予定

1月 美玉散 西洋はみがき 一名口中石鹸 盛貫堂製 広告

2月 千葉臘乾ラカン(ハム) 千葉臘乾製造所製 広告

上等一斤廿八匁 三〇斤以上一割引

4月 小町紅 京都紅平 広告

4月 才三回内国勸業博覧会 石鹸の出品者 東京(一七) 大阪(一一) 石川(一)

二) 神奈川、兵庫、長崎、埼玉、愛知、岡山、広島、熊本各(一)

計三七種

4月 商法浴布

5月 東京石鹼製造業組合創立 本所中ノ鄉村二番地

組合地区 十五区六郡 組合員 三十二名

7月 才一回象議院総送挙

7月 米価 一石建十一円十七匁 一円に付八升九合一九分七合

ヒール相場 一ダースに付

桜田一四五 十年一三五 東一四二 上麥一四五

富士一四〇 浅田一四〇 キリン一九五 エビス 一八五

独逸マアビット機械口(四ダース)九三〇、 自転車九二〇

ウイスマル九五〇、 キール九三〇、 ストック九五〇

チボル 七五〇、 キイラハ三〇、 灯台 七五〇

10月 教育勅語下る

10月 西洋小間物廉価正札附発売 本所藤田洋物店 広告

10月 金融逼迫の景况調査 東京商工会

11月 冷液縮練法発明、稲畑勝太郎

11月 上野公園にて軽気球乗(パーシヴァル、スペンサー)興行

11月 第一回帝国議会開く

12月 一万尺 軽気球興行(ポールドウィン兄弟)

12月 香油(八十年代、いづつ油) 香水(はらの露、菊の露) 煉油(いづつ香)

井善 広告

12月 水歯磨 磨齒水劑発売 白紅堂

12月 コンクリート塊製造 碎台入札購入 広告

12月 桜田ビール、五ガロン小樽中味売リ二円、亀屋五三郎 広告

12月 花王石鹼 一ヶ十二ヶ、十月発売 長瀬富郎製販 やま新聞十二月二十三日 広告

12月 三能しゃぼん 十ヶ、十月発売 西條重兵衛 十二月二十三日

佐々木玄兵衛発売

12月 さくら石鹼 十ヶ、十一月? 鈴木保五郎製販 時事新報十二月二十五日



- 
- 牛込舎石炭工場は安永舎となる（安永鉄造）  
11月 浅草十二階建つ、高三十六間余、総煉瓦造
- あせ知らず 徳田商店創業